

第22回生協ふれあいの森植樹祭「眺望山」開催報告

1. 日時 2023年5月21日(日)：10:10～12:00
2. 場所 青森市内真部・眺望山自然休養林
3. 参加 30名
コープあおもり(6名) 津軽保健生協(3名) 県民生協(12名) 森林管理署(5名) 県生協連(4名)
※うち組合員(10名)
4. 当日プログラム

10:10～	集合
10:15～10:20	あいさつ 青森森林管理署 村上 卓也 署長 県生協連 菅原 正 会長 参加者紹介、ペア確認、記念撮影、ストレッチ
10:25～11:15	植樹方法の確認、植樹(ヒバ52本)
11:15～12:00	ヒバについての解説、自然散策、木工工作体験、解散



あいさつをする村上署長と菅原会長

・5月21日(日)、青森市眺望山自然休養林において第22回「生協ふれあいの森」植樹祭を開催しました。生協組合員や森林管理署の皆さん、スタッフを合わせて30名が参加し、ヒバの苗木52本を植えました。県生協連では2001年から青森森林管理署と「ふれあいの森協定」を締結し、牛乳パックのリサイクルの収益金をもとにした植樹活動を眺望山で実施してきました。23年間で植えることができたヒバの苗木は、3,952本となりました。

・参加者は、やや急斜面の山道を登って、およそ2メートル間隔となるよう、森林管理署の職員の説明のとおり唐クワを上手にを使って丁寧に1本1本植えていました。

・植樹後は森林管理署の方によるヒバの成長についての解説、遊歩道の自然散策、川に入っの長靴洗い、松ぼっくりや木の枝などを使った工作体験を行いました。

・参加者の中には、中学生の時にも参加したという高校生もいました。

・ABAの取材があり、当日の夕方のニュースに放映されました。



ヒバを植樹する組合員・職員

～組合員さんの感想～

- ・植樹祭自体初めて行いました。作業そのものは難しくなく、楽しみながらできました。また機会があれば参加したいと思います。
- ・県民生協の一員として初めて参加してみましたが、こうして青森の自然を保護する活動に参加出来て楽しかったです。